

個人情報と記録の扱い Ver.1.0

作成日 2026年9月23日

はじめに

教育のアトリエでは、申し込みや対話の中でお預かりする情報を、相談者から一時的に預かっている大切なものとして扱います。

必要だから集める。

必要な範囲で使う。

必要がなくなったものは、いつまでも持ち続けない。

そして、何を記録し、どこに残し、いつ手放すのかを、できるだけ分かりやすくお伝えします。

このご案内では、教育のアトリエにおける個人情報と対話の記録の扱いについてお伝えします。

1. お預かりする情報

教育のアトリエでは、サービスの提供に必要な範囲で、主に次の情報をお預かりします。

- ・呼ばれたいお名前（本名でなくても構いません）
- ・メールアドレス
- ・希望日時など、予約に関する情報
- ・申し込み時に任意で記入いただいた相談内容
- ・料金の支払いに必要な情報、取引の記録
- ・対話の中で作成する必要最小限のメモ
- ・追伸などを郵送する場合に必要な住所等

申し込みの際に、相談内容を詳しく書くことは求めません。

まだ言葉になっていない場合や、当日に話したい場合は、その旨だけお知らせいただくこともできます。

教育のアトリエでは、サービスの提供に必要なのない情報を、「念のため」という理由だけで集めないようにします。

2. 情報を利用する目的

お預かりした情報は、主に次の目的で使用します。

- ・予約の受付、日程調整
- ・相談者への連絡
- ・対話の準備と実施
- ・スケッチや追伸の作成、送付
- ・料金の請求、支払いの確認、会計処理
- ・お問い合わせへの対応

これらの目的を越えて利用する必要がある場合には、あらためてご本人にお伝えし、必要な場合には同意を確認します。

3. 申し込み時の相談内容

申し込み時に書いていただいた相談内容は、当日の対話を決めつけるための資料にはしません。

事前に書いていただいたことと、当日に話したいことが違っていても構いません。

書かれた内容から、相談者の人物像や問題の原因をあらかじめ判断することはありません。

対話は、そのときご本人が話したいことから始めます。

4. 対話中の記録

教育のアトリエでは、対話を振り返り、スケッチや追伸を作成するために、必要な範囲でメモを取ることがあります。

対話のすべてを記録するものではなく、逐語録も作りません。

主に、

- ・相談者が大切にしていた言葉
- ・残しておきたい問い
- ・スケッチにつながる内容
- ・追伸を書くために必要なこと

などに限って記録します。

対話中のメモは、原則として紙で作成します。

ご本人から「これは記録に残さないでほしい」と希望があった内容は記録しません。すでに記録した内容について削除の希望があった場合も、可能な範囲で対応します。

教育のアトリエ側で、対話の録音・録画は行いません。

5. スケッチと追伸

対話の終わりに作成する「スケッチ」は、その時間に見えてきた問いや願い、これからの歩き方などを、言葉や図によって仮の輪郭として残すものです。

後日お届けする「追伸」は、対話の議事録や評価ではありません。時間を置いたことで残った言葉や問いを振り返り、書いてお届けします。

スケッチや追伸は、診断書、評価書、完成した計画ではありません。

違和感のある表現があった場合には、その場でも、後からでも、修正や削除を希望することができます。

6. 相談者の記録と、教育のアトリエの振り返り

教育のアトリエでは、相談者との対話内容を、長期保存することを前提とした記録として残すことはしません。

対話メモや、スケッチ・追伸の控えなど、相談者の具体的な物語につながるものは、その役割を終えた後に手放します。

一方で、対話を終えた後に、

- ・時間の使い方を見直したい
- ・問いを急ぎすぎた
- ・説明を分かりやすくしたい
- ・この所作は大切にしたい

といった、教育のアトリエ自身の学びを振り返りとして残すことがあります。

残すのは、相談者の物語ではなく、教育のアトリエ側が引き受けた学びです。

この振り返りには、相談者を特定できる情報や、具体的な相談内容を残しません。

7. AIの利用について

教育のアトリエでは、事業の仕組みや文章をつくること、考えを整理することなどに、生成AIを活用しています。

一方で、相談者との対話にはAIを使用しません。

次の情報を生成AIへ入力することはありません。

- ・相談者を特定できる情報
- ・具体的な相談内容
- ・対話中のメモ
- ・個別のスケッチ
- ・個別の追伸

また、生成AIに相談者の診断、評価、人物分析をさせることはありません。

教育のアトリエ自身の運営上の振り返りにAIを活用する場合にも、相談者の物語ではなく、個人を特定できない形にした運営上の学びだけを扱います。

個別のスケッチと追伸は、AIを使用せず、対話を担当した者が作成します。

8. 第三者への提供

教育のアトリエでは、お預かりした個人情報や対話内容を、ご本人の同意なく第三者へ提供しません。

ただし、法令に基づく場合や、ご本人または他者の生命・身体・安全に重大な危険があり、必要な対応が求められる場合など、例外的な対応が必要となることがあります。

その場合にも、可能な限りご本人への説明を大切にし、必要な範囲を越えて情報を扱わないようにします。

9. 外部サービスの利用と情報の置き場所

予約、連絡、決済、会計などのために、外部サービスを利用します。

申し込み | Tally

呼ばれたいお名前、メールアドレス、希望日時、任意の相談内容などを受け取ります。

利用に関する基本情報 | Googleスプレッドシート

管理番号、呼ばれたいお名前、メールアドレス、利用日など、サービスの運営に必要な最小限の情報を管理します。相談内容はここには残しません。

決済 | Square

料金の支払いと取引の記録に利用します。

会計 | freee

売上、決済手数料、入金など、会計・税務上必要な取引記録を管理します。

データ保管 | Google Drive

会計資料や、教育のアトリエの運営に必要なデータを保管します。

連絡 | 教育のアトリエのメールアドレス

予約や日程調整、追伸の送付、お問い合わせへの対応などに利用します。

対話中の紙のメモや、スケッチ・追伸の控えを、長期保存を目的としてGoogle Drive等へ保存することはしません。

それぞれのサービスには必要な情報だけを置き、同じ情報を複数の場所へ無秩序に複製しないようにします。

10. 情報を安全に扱うために

デジタルデータについては、

- ・端末のロック
- ・強固なパスワード
- ・利用できるサービスでの二段階認証
- ・保存場所とアクセス範囲の限定

などの方法で管理します。

紙の対話メモは、他の人が自由に見ることのできない場所に保管します。

また、相談者が何を話したかという記録と、「いつ申し込み、いつ支払い、いつサービスを実施したか」という取引の記録は、分けて扱います。

こうした対策を行っていても、誤送信や紛失、不正なアクセスなどが起きる可能性を完全になくすることはできません。

万一そのようなことが起きた場合には、まず状況を確認し、被害の拡大を防ぐための対応を行います。

ご本人へのお知らせが必要な場合には、できるだけ速やかにご連絡します。必要な場合には、関係する機関への報告など、法令に沿った対応を行います。

また、何が起きたのかだけでなく、なぜ起きたのか、何を直す必要があるのかを振り返り、仕組みの見直しにつなげます。

11. 保存する期間

情報は、その役割に応じて保存する期間を分けます。

申し込み時の相談内容

対話と追伸の作成に必要な期間だけ保持し、追伸送付後1か月を目安に削除します。

対話中の紙のメモ

追伸送付後1か月を目安に、シュレッダー等で内容を読み取れない状態にして廃棄します。

スケッチ・追伸の控え

対話と追伸に関する対応が終了した後、削除・廃棄します。

郵送のためにお預かりした住所等

発送などの対応が終了した後、削除します。

利用に関する基本情報

管理番号、呼ばれたいお名前、メールアドレス、利用日など、必要最小限の情報だけを管理します。保存する必要性を定期的に見直し、役割を終えた情報は削除します。

問い合わせの記録

対応中は必要な範囲で保存し、対応終了後は定期的に整理します。

会計・取引の記録

売上記録、帳簿、請求・決済に関する記録などは、会計・税務上必要な期間保存します。

相談者の物語は必要以上に持ち続けず、取引の事実は必要な期間きちんと残します。

12. 確認、修正、削除について

教育のアトリエが保有しているご自身の情報について、

- ・どのような情報を持っているか確認したい
- ・内容を修正したい
- ・記録を削除してほしい
- ・記録の扱いについて確認したい

といった希望がある場合には、お問い合わせください。

ご本人であることを確認したうえで、法令や運営上必要な範囲を確認しながら対応します。

13. お問い合わせ

個人情報や記録の扱いについて、分からないことや気になることがある場合は、次の窓口へお問い合わせください。

contact@atelier-edu.org

対話の前でも、後でも構いません。

14. このご案内について

このご案内は、一度作って終わりではありません。

教育のアトリエの運営や、利用してくださった方からの声、必要な制度の変更などに合わせて見直します。

変更した場合には、更新日を記録します。

教育のアトリエでは、個人情報を守ることを、単に「外へ漏らさないこと」だけとは考えていません。

何を預かるのか。

なぜ預かるのか。

どこまで残すのか。

いつ手放すのか。

その一つひとつを考え、相談者が自分の情報の扱われ方を知り、必要なときには希望を伝えられる状態をつくることも、大切な仕事だと考えています。